

止まり木



人の失敗は祈りたくない！



今日からいよいよ最も長い2学期が始まりました。この夏休み中には全国各地で水難事故が多発し、かけがえのない命をなくした子どもたちがいました。本当に残念です。だからこそ、みんなは命をさらに大切にしたいと心から思います。以下、今日の始業式でお話しした内容を改めて紹介します。

2学期始業式

今日から2学期がスタートします。みんなはどんな夏休みを過ごしましたか。1学期の終業式でお話したことを覚えていますか。

それは何か一つでもやることを決め、それを続けてほしい。そのためには時間を大切にしてほしいという話をしたうえで

『朝を制する者は、一日を制す 一日を制する者は、一年を制す

時間を制する者は、人生を制す』という言葉を紹介しました。時間を大切にすることとは命を大切にすることです。そういう意味で今日みんなが元気に登校してくれたことを本当にうれしく思うとともにホッとしています。

一番最新の校長通信「止まり木」でオリンピックのお話を紹介しました。みんなはどの競技、どの場面が一番印象に残っていますか？たくさんの名場面があった中で校長先生が最も感動した選手の言葉を紹介しましたが、読んでくれましたか？

それはスケートボード女子パークで東京五輪金メダリストの四十住さくら選手の言葉です。今回のオリンピックでは彼女は予選10位となり上位8人による決勝進出を逃しました。彼女は自らの競技を終えた直後のインタビューでオリンピック2連覇を目指していたことを話しながら「最後まであきらめずに、でも人の失敗は祈りたくないの」と心境を口にしました。他の選手が失敗すれば、自分が決勝に進めるかもしれないぎりぎりの状況でのこの言葉に本当に素晴らしい選手であり、人間として大きな人だなあと思いました。

きっと本人にはしかわからないこれまでの努力や私たちには想像もできないプレッシャーがあったことと思います。そんな彼女だから他の選手の苦労も認め、人の失敗を願うのではなく成功を祈れたのではないのでしょうか。

今年度の始まりにみんなに今年は「人を認める文化」をつくっていきましようかと伝えました。まさにこういうことなのではないかと思います。

2学期は体育大会や文化発表会、合唱コンクールなど、そういう機会がたくさんあります。どうかさらに人を認め、人の努力をたたえることのできる人にみんなにもなってほしいと思います。頑張ってください。

今日の始業式の後、たくさんの人に表彰状の伝達を行いました。卓球部はこの夏もたくさんの結果を残してくれました。また、学校の部活動にはありませんが、水泳、テニスでも素晴らしい結果を残してくれました。さらに、生徒会の呼びかけにみんなが協力してくれたコンタクトレンズの空き容器の回収でもコンタクトレンズのアイシティーから感謝状をいただきました。結果を出せた人以外にも夏休み中、一生懸命部活動に取り組んだ人もたくさんいます。努力は無駄にはなりません。さあ！2学期も頑張ってください。

表彰状

